

江府町の地域おこし協力隊の活動日記  vol.12

『隊員のチャレンジ』

奥大山の味を全国に！“つくって”“パックして”“はんばい”まで

田植えも終わり大豆の播種も終わりやっと一息つきました。法人宮市の商品の小売りをTwitterを中心としたSNSなどで小規模に行っていますが、さらなる販路拡大に向けて、商談のチャンスがある時はなるべく外へ出るようにしています。現在も、『地域商社とっとり』を通じて取引の話を進めている所です。販路を広げ、多くの人に奥大山江府町の名前と美味しいお米を知ってもらいたいと思います。



法人宮市班
まつもと よしふみ
松本 良史

『鉄板焼き まつもと』
イベント出店情報

料理人でもある松本さんが腕ふるう鉄板焼きを食べにいつてみんしゃい！

◆8月4日(日) 介護フェア in あやめ ◆8月11日(日) 奥大山山の日ロックフェス@奥大山スキー場

課題を乗り越えて、自慢できる“じげ”の特産品を

協力隊任期後の活動の拠点となる場、大河原への引越しの準備もしつつ、クロモジの収穫をして、アロマの蒸留実験から、お茶の成分研究などに明け暮れる毎日です。「やはりもう少し品質を上げるには」とか、「せつかくなら環境負荷のかからないパッケージを考えたい」、「こんな装置や機械があればもっと効率よくできる」など、製品作りにおける壁（課題）に対して解決策を考えているところです。そんな壁を乗り越えて、今年の夏が終わるころには、江府町の自慢となるような特産品の発表を目指しています！



観光振興班 いわさき ちえ
岩崎 智恵

やせた土地でも麦は栽培できるのか!? 48種類の麦で実験中

今、挑戦していることは麦栽培の実験です！現在、48品種の麦を市民農園カサラファームで栽培しています。去年の秋に蒔いた種は今、立派に育っています！収穫期が梅雨にあたるので麦は山陰地方ではあまり栽培されていませんでしたが、今は早生の品種もあるので梅雨前に収穫出来る麦もあります。ですが、多くの品種が梅雨時期のタイミングで収穫期を迎えました。長雨で、麦に悪影響がないよう祈るばかり。梅雨が過ぎてから、今度はコンバインで収穫してみます。どうなるかが楽しみ！



農業振興班 くわはた さいもん
柴畑 才文



▲新甘泉の栽培について町担当者より説明を受ける様子

日野高校レポート 

～ 職場体験学習の巻 ～

日野高校職場体験学習が6月11日（火）から14日（金）まで、江府町役場で行われ、日野高校2年生の山本雅騎さんと吉柳帆海さんが役場の仕事を体験しました。農林産業課では、農林業や商工観光の説明を受けた後、新甘泉を栽培している現地見学に向いました。普段見慣れない梨農園の設備や、少人数でも作業がしやすいジョイント栽培などを実際に目にする中で学習を深めていきました。

山本さんは「地域の方々とのコミュニケーションの大切さを知りました。この体験を活かしていきたい」と話されました。